



優美な歌に ほころぶ笑顔

(2月19日、民謡舞踊発表会＝関連記事 16頁)

主な 内容	九曜塾（郷土理解と仲間づくり）…………… 2	平成29年度軽自動車税額…………… 5
	みんなで教振・国体選手と鼎談…………… 3	3ちゃん矢次工房でみそ造り…………… 10
	村小中学校スキー大会…………… 4	日本民謡協会岩手九戸会が30周年…………… 16

く ようじゅく 九曜塾

郷土理解と仲間づくり

九曜塾では、土曜学習に代わるさまざまな体験活動の場を村内小学生に提供しています。この塾は村内や周辺地域の自然や文化、歴史、人に触れる体験活動を実施し、郷土への理解と仲間づくりを進め、次代を担うたくましい九戸っ子を育てるために開設されました。

九曜塾は、九戸村で生まれ育った戦国武将・九戸政實公の九戸氏の家紋である「九曜紋」から名前を付けました。



九曜塾は地域の皆さんの協力の下、平成27年度から始まり本年度で2年目になります。下記は本年度実施した内容です。引き続き平成29年度も実施しますので、小学生はぜひ参加してください。詳しくは、村教育委員会生涯学習班（☎42・2111内線305）まで問い合わせください。

《九曜塾の開催状況》

回	期 日	学 習 内 容	参加児童数	開 催 状 況
1	5月28日	森林学習 場所…コロポックルランド 講師…夏井嘉一郎さん	24	九戸村の森林から出る良い空気とおいしい水のありがたさ、木の実の大切さを学びました。
2	6月11日	塩の道学習 場所…林道小倉線～九戸峠 講師…岩瀬好生さん（村山友会）	18	九戸村にも塩の道があったことを教えていただき、実際に歩いて先人の苦労と歴史を実感しました。
3	7月23日	ヒメボタル観察会 場所…折爪岳山頂付近 講師…上柿初雄さん	14	日本で代表的なホタル3種類について学びました。3種類の一つであり折爪岳に生息するヒメボタルを観察しました。
4	8月6日	九戸政實公学習 場所…村内～二戸市 講師…木村正樹さん	14	九戸政實公関連の村内史跡を巡り、二戸市にある九戸城跡も見学し、政實公に思いを馳せました。
5	9月24日	世代間交流 場所…村パークゴルフ場～ふるさと創造館 生涯学習アカデミー受講生と合同	24	初めて企画した世代間交流。パークゴルフや押し花しおり作り、自分たちの手で突いたところてん会食を通じて、大人と子どもが触れ合い笑顔がいっぱい溢れていました。
6	10月8日	九戸村遺跡探検 場所…村内～折爪岳 講師…村田勝義さん（村山友会）	22	村指定天然記念物や庚申塔（こうしんとう）、熊野館跡、羽黒神社、折爪五滝など、数々の史跡を巡り歴史を学びました。
7	11月13日	創作活動「ミニほうき作り」 場所…(有)高倉工芸 講師…高倉清勝さん	19	海外でも知られている南部ほうきについて学習し、ミニほうき作りに挑戦しました。
8	12月10日	やなぎばっと作り 場所…村山村開発センター 講師…上柿幸子さん（県食の匠）	17	数多くある郷土料理の中から、やなぎばっと作りに挑戦。素朴な味わいにほっこり、思っていた以上の味でした。
9	1月28日	戸のまち親子スキー交流会 場所…村営くのへスキー場 講師…くのへスキースノーボードスクール	21	六戸町から18人の小中学生、村から21人の小学生が参加し、スキーやゲームで交流を深めました。
10	2月18日	かんじき体験 場所…就志森 講師…村田勝義さん（村山友会）	19	村山友会の皆さんと一緒にかんじきを履いて就志森に登り、雪遊びを楽しみました。



自分たちが突いたところてんを食べて交流



ミニほうき作りっておもしろい



やなぎばっと作りを体験

みんなまで教振！ 子どもの健全育成を考える

村教育振興運動集約集会・

村PTA研究大会が1月29日、HOZホールで開かれました。村内幼保小中高校PTA会員や村民など約200人が集まり、子どもの健全育成について理解を深めました。

実践事例発表では、2つの実践区が発表。伊保内保育園では、「当たり前前の事を当たり前前にできる子」を指した取り組みについて、江刺家小学校では、平成8



事例発表する伊保内保育園実践区(左)と江刺家小学校実践区



国体選手との鼎談を小・中・高校生も観覧

年から継続している「稲作農業体験」についてそれぞれ家庭や地域と連携・協働して進めた活動を紹介しました。

この日は、村教育振興に功勞された人への表彰も行われました。(敬称略)

◆教育振興運動功勞者表彰

- 小沼智史(山根小) 佐々木 洸志(伊保内小) 屋形場一 弘(同) 池田卓司(九戸中)
- ◆PTA連合会功勞者表彰
- 中村福憲(伊保内小) 和田 誠(山根小) 小松智樹(江刺家小) 橘すえ子(九戸中)

大会では、昨年の希望郷いわて国体で活躍した、河村泰輔さんと橘廉さんを招待し、漆原一三教育長と3人が語り合う鼎談が行われました。漆原教育長が2人にインタビュする形で語り合った主要内容を紹介し

鼎談＝国体出場選手と教育長が語る＝ 希望郷いわて国体に参加して ～希望・感動・感謝～

国体選手として苦勞話など
【橘】オール岩手の皆さんがとても優しかった。練習は厳しく、同じ姿勢を1、2分維持する体幹トレーニングが一番辛かった

【河村】体調管理が大変だった。体に良い物を食べるのと、体幹トレーニングを

続けることに神経を使った

国体で心に残っていること

【河村】2013年の東京国体、初めてスタメン出場できた大分との試合。試合は延長21回までもつれ、たこ焼きを食べながら出場した

【橘】昨年いわて国体での7位決定戦。チームで20本ぐらい安打を打つことができ、集大成という感じで一番楽しかった

お互いのいいところは

【河村↓橘】小柄な体でもホームランを打ち、スケールの大きな選手

【橘↓河村】努力家でチーム一番のストイックな選手

野球との出会いは

【橘】野球選手だった父親がきっかけ。一番尊敬する選手

【河村】今やっていることに自分を信じて全力でぶつかってほしい。自分を信じてやる方がいい結果につながる。私自身が気を付けて大切にしていることは、誰にでもできることを誰もできないくらい継続すること

【橘】夢は叶う。何事にも目標を持って目指してほしい。高校生の時、監督に「お前から野球を抜いたら何が残る」と言われ答えられなかった。スポーツ以外の勉強も生活も大事にすること。そのことがスポーツにもつながる

【河村】父親がきっかけで遊びながらやるようになった。3歳から始めた(当時買ってもらったグローブに3歳と書いてある)

九戸村の子どもたちへ 激励の言葉

【河村】今やっていることに自分を信じて全力でぶつかってほしい。自分を信じてやる方がいい結果につながる。私自身が気を付けて大切にしていることは、誰にでもできることを誰もできないくらい継続すること



河村 泰輔さん

《出身》
九戸村江刺家下
《勤務先》
㈱阿部繁孝商店
▷8年間オール岩手として活躍



橘 廉さん

《出身》
九戸村戸田下
《勤務先》
盛岡信用金庫
▷昨年夏からオール岩手として活躍



己に挑戦し果敢に攻める選手

小中スキー大会

村小中学校スキー大会は2月11日、村内小中学生38人が出場し、村営くのへスキー場で開かれました。

開会式で千葉政人君(伊保内小6年)が「他校の友達と競い合い高め合う喜びを感じながら、最後まで全力で競技します」と力強く選手宣誓。

競技は男女学年ごとに分かれ、大回転にて競われました。小学1年～3年生はダイナミックコース中段から16旗門、小学4年生以上は上段から24旗門にて争わ

攻めの滑り貫く

れました。

コンディションに恵まれたこの日、選手たちは陽光輝く青空の下、今まで培ってきた成果を存分に発揮しようとして、最後まで攻めの滑りを貫いていました。自身に挑戦し、果敢に攻めた選手からは汗がにじみ出て、滴る水滴が白銀の中で一層輝いていました。競技の結果、上位3位までの入賞者を紹介します。(敬称略)

【男子】

- 小学校2年 ①古館明澄(長興寺) ②下條道凛斗(江刺家) ③林勇希(同)
- 同3年 ①福田悠斗(戸田) ②高岡直太郎(伊保内) ③大畑龍斗(同)
- 同4年 ①下條道悠来(江刺家) ②松澤来也(伊保内) ③七戸祐太(江刺家)
- 同5年 ①田澤優成(山根) ②大崎雅嗣(長興寺) ③久保田瑠晟(山根)
- 同6年 ①林竜太郎(江刺家) ②中野感大(長興寺) ③高倉悠矢(戸田)

【女子】

- 中学校 ①小林海斗(戸田)

身に付けよう

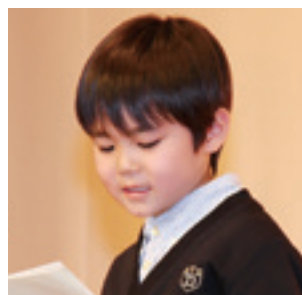
第3回村民読書の日

第3回村民読書の日は2月12日、HOZホールなどで行われました。会場では講演会や研修会、しおり作りなどが催され、参加者は読書への親しみを深めていました。

この日はKOTOSE音読教室の佐藤くみさんが「音読のホント」をテーマに、講演会と読み聞かせ研修会を行いました。

佐藤さんは「音読をすれば会話力が上がり言葉の力が身に付く。コミュニケーション力が上がり気持ちも前向きになるなど、音読を

滑舌力と声の表情



村長賞の松田侑士君



することで多様な能力が身に付く」と解説していただきました。また、「音読を続けることによって、滑舌力が上がり声に表情を付けることができる」と強調していただきました。

さらに、来場者も加わりひらがな50音表を活用した発声練習に挑戦し、声に表情を付ける練習をしました。また、この日は村民読書感想文コンクール表彰式も行われ、入賞者を紹介します。(敬称略)

- 村長賞 松田侑士(伊保内小1年)
- 教育長賞 下澤奈々花(伊保内高3年)
- 優秀賞 和田心花(山根小4年)

- 森越仁(江刺家小5年)
- 森美沙希(九戸中3年)
- 入選 中村暖天(戸田小1年) 橋本倅生(同3年) 大崎英翔(山根小3年) 千葉理聖(長興寺小4年) 山谷琉斗(同5年) 谷地海希風(戸田小6年) 小笠原苺(江刺家小6年) 皆川晶南(九戸中3年) 小沼侃士(同)

- 佳作 小笠原葵(江刺家小1年) 日向瑠(山根小2年) 大谷文乃(伊保内小2年) 田澤愛里菜(九戸中1年) 柳平千織(同2年) 櫻庭美穂(伊保内高2年)

平成 29 年度軽自動車税の税額について

平成 28 年度から軽自動車税の税額が変わりましたが、平成 29 年度においても地方税法改正に伴い、車両の種類や初度検査年月によって、適用される税額が異なります。

◎原動機付自転車および二輪車など

下表にある原動機付自転車や二輪車などは、「①現行年額」が適用されます。

区 分		①現行年額
原動機付自転車	50cc 以下	2,000 円
	50cc 超～90cc 以下	2,000 円
	90cc 超～125cc 以下	2,400 円
	ミニカー	3,700 円
軽二輪（125cc 超～250cc 以下）		3,600 円
二輪の小型車（250cc 超）		6,000 円
小型特殊自動車	農耕作業用	2,400 円
	その他（フォークリフトなど）	5,900 円
雪上車		3,600 円



◎軽三輪・軽四輪以上

初度検査年月によって「②旧標準年額」、「③標準年額」、「④重課税額」のいずれかの税額が適用されます。

※ 初度検査年月は、車検証に記載されています。

区 分			②旧標準年額 平成 27 年 3 月 31 日までに 初度検査を受けた車両に適用	③標準年額 平成 27 年 4 月 1 日以降に初 度検査を受けた車両に適用	④重課税額 初度検査を受けた日から 13 年が経 過した車両に適用
軽 三 輪			3,100 円	3,900 円	4,600 円
軽 四 輪 以上	乗 用	営業用	5,500 円	6,900 円	8,200 円
		自家用	7,200 円	10,800 円	12,900 円
	貨 物	営業用	3,000 円	3,800 円	4,500 円
		自家用	4,000 円	5,000 円	6,000 円

◎軽自動車のグリーン化特例

平成 29 年度分に限り、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに初度検査を受けた車両について、下記の

⑤～⑦に該当するものは、グリーン化特例（軽課）が適用されます。

区 分			⑤課税年額	⑥課税年額	⑦課税年額
軽 三 輪			1,000 円	2,000 円	3,000 円
軽 四 輪 以上	乗 用	営業用	1,800 円	3,500 円	5,200 円
		自家用	2,700 円	5,400 円	8,100 円
	貨 物	営業用	1,000 円	1,900 円	2,900 円
		自家用	1,300 円	2,500 円	3,800 円

⑤電気自動車・天然ガス軽自動車：平成 21 年排出ガス 10%低減

⑥乗用：平成 17 年排出ガス基準 75%低減達成かつ平成 32 年度燃費基準+ 20%達成車

貨物：平成 17 年排出ガス基準 75%低減達成かつ平成 27 年度燃費基準+ 35%達成車

⑦乗用：平成 17 年排出ガス基準 75%低減達成かつ平成 32 年度燃費基準達成車

貨物：平成 17 年排出ガス基準 75%低減達成かつ平成 27 年度燃費基準+ 15%達成車

※ ⑥、⑦については、揮発油（ガソリン）を内燃機関の燃料とする軽自動車に限りです。

■問い合わせ 税務会計課税務徴収班（☎ 42-2111 内線 232）

m u r a n o w a d a i むらのわだい

皆さんからいろいろな情報をお待ちしています。
お気軽に広報担当☎42-2111（内線168）へお寄せください。

伊保内保育園で豆まき会 自分の悪い鬼やっつけたよ

2月3日、伊保内保育園で豆まき会が行われました。3歳以上の園児42人が紙芝居で節分を学び、自分の年齢に合わせた落花生を食べて節分を楽しみました。その後、園児一人一人が自分の中に潜んでいる悪い鬼を発表。「夜更かし鬼や片付けない鬼をやっつけるぞー」と、元気に発表していました。また、豆まき競争やダンスを楽しんでいると、突然、赤鬼と青鬼が登場。園児たちは「鬼は一外、福は一内」と、いり豆を力一杯投げつけていました。大畑小春ちゃん（6歳）は、泣くのを我慢しながら「鬼が怖かったけど、怒りんぼう鬼をやっつけたよ」と教えてくれました。



きた鬼たちに投げつける伊保内保育園の園児たち



自分の中の鬼を退治しようと、豆まきの練習をする園児たち



元気な掛け声を掛け、悪い鬼を追い出しました

くのへスキー場でナイター感謝デー ゲレンデにこだます歓声

村営くのへスキー場では2月4日、ナイター感謝デーが行われました。午後4時からリフト・ロープトウが無料開放され、村内外からの家族連れなどでにぎわいを見せていました。スノーモービルの乗車体験では、行列ができるほど人気を集め、ゲレンデには体験者の歓声がこだましていました。おしるこや焼き鳥の特価販売は売れ切れになるほどの盛況ぶりでした。営業終了後のたいまつ滑走では、淡い光が暗闇の中に浮かび上がると、遅い時間まで待っていた来場者から感嘆の声が上がっていました。



思い思いにスキーを楽しむ参加者

戸のまち親子スキー交流会 雪に親しみ交流の輪広げる

戸のまち親子スキー交流会が1月28日、村営くのへスキー場で開かれました。今年は、村教育委員会が実施している九曜塾の一環として行われ、六戸町の小学生6人と村内の小学生21人が参加し、スキーを通じて親睦を深めました。また、六戸町の中学生8人も加わり、4つのクラスに分かれてスキーやスノーボードを楽しみました。昼食後には7つの班に分かれ、雪山や雪だまを作り、雪に親しみながら交流の輪を広げていました。七戸友利乃さん（江刺家小1年）は、「指導者のお陰で上手に滑れてよかった」と喜んでいました。



ライトアップされたゲレンデで快適な滑りを楽しむ来場者



丘の上から飛び跳ね、ケツゾリを楽しむ戸田小児童

戸田小で全校かんじき体験 雪と戯れ広がる歓声

2月6日、戸田小学校でかんじき体験が行われ、全校児童57人がかんじきを履いて雪上散歩を楽しみました。かんじき体験は平成20年度から村山友会の協力を得て行われており、この日は雪がしんと降る中、同会12人からかんじきの履き方や雪上の歩き方などの指導を受けながら、雪との戯れを満喫していました。児童たちは、目の前に広がる銀世界へ向かって駆け出したり、約3mある丘の上からジャンプしたりと、雪遊びに歓声を上げていました。東井葵仁君(2年)は「転んで起きるのが大変だったけれど、ケツゾリが楽しかった」と笑みを広げていました。



先生がいてくれた豆を、突然入って



鬼に見立てた模型にボールを投げつけ、豆まき競争を楽しみました



華やかな衣装を身にまとい、きよしのズンドコ節を踊る山根老人クラブ

老人クラブ連合会レクリエーション大会 歌や踊りが笑顔を創造

村老人クラブ連合会レクリエーション大会が1月23日、HOZホールで開かれました。この日を楽しみに待っていた約200人が集まり、歌や踊りを堪能しました。開会式で高崎覺志会長が「私たちは生きがづくり、健康づくり、地域づくりに取り組んでいる。本日は心行くまで楽しいんでほしい」とあいさつ。ステージ上では9つの老人クラブが40演目を披露しました。長年培ってきた自慢のカラオケや息の合った演舞が披露され、来場者は満足そうに拍手を送っていました。



長興寺老人クラブが仮装をして炭鉱節を熱演しました



妻恋道中を軽やかに踊る江刺家下老人クラブの皆さん



親戚が集まり大崎トシさん(前列中)の100歳を祝福

家族に囲まれ幸せ大崎トシさん

大崎トシさん(長興寺上)は2月10日に100歳を迎え、親戚たちと一緒に長寿を喜び合いました。五枚橋久夫村長が花束と長寿祝い金を手渡し、「これから長生きされることを祈ります」と祝福しました。

子ども4人、孫8人、ひ孫11人、やしやご4人に恵まれた大崎さんは、「たくさん孫たちに囲まれ幸せ」と笑みを広げていました。

わが家の人気者

●4月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!!希望する人は3月10日(金)までに、写真(データも可)を広報担当(☎42-2111内線168)までお持ちください。

交通安全・防犯教室は2月9日、HOZホールで開かれました。4月に入学予定の村内年長園児32人が、県警察署員14人から信号機の見方や、横断歩道の渡り方などを教わりました。また、近未来警察カシオペアも駆け付け、園児たちは「いかない」や「のらない」などを標語にした『いかにおすし』を学び、標語を守ることを約束していました。



横断歩道を渡るときに手を上げることを学ぶ年長児たち

年長児が交通安全学ぶ

県歯科医師会などが主催する平成28年度歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクールにおいて、小学校1〜3年生の図画・ポスターの部で山下愛望さん(戸田小3年)が県の佳作、標語の部で日和蓮志君(山根小6年)が県の代表賞に輝きました。表彰式は12月27日、いわて県民情報交流センターで実施された県学校健康教育研究大会の席上で行われ、受賞作品の入った賞状が贈呈されました。

県の佳作に選ばれた山下愛望さん



県の代表賞に選ばれた日和蓮志君



歯と口に関するコンクール 山下さん佳作 日和さん代表賞

自衛隊入隊予定を報告する2人(右から澤田さんと林さん)



澤田さん林さんが自衛隊入隊予定
澤田凌さん(南田)と林大地さん(山屋)は2月10日、役場村長室を訪れ、平成29年4月から自衛隊に入隊することが決まった事を五枚橋久夫村長に報告しました。澤田さんは「自己鍛錬に努め、人のために働ける自衛官になりたい」、林さんは「心身を鍛え、誰からも常に頼られる人になりたい」と、五枚橋村長へ力強く決意を述べました。

友達の輪 23

篠山

諒さん
29歳・泥の木



友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

平成22年から三戸市で福祉関係の仕事をしています。

◆趣味・特技は？ 3年ぐらい前からソフトバレーを始め、週3回ぐらい汗を流しています。

◆休みの日は？ 友人と一緒に夏はパークゴルフ、冬は温泉巡りに出掛けることが多いですね。

◆一番の楽しみは？ 友達と一緒に大好きなお酒を飲むことが楽しみです。

◆一番望んでいる事は？ 彼女をつくって、一緒にスポーツ観戦がしたいです。

むらの文芸

第346回くのへ俳句会

菅野 岑子

初雪のためらいがちに降りて来し

本堂の上が框の小春かな

隠れ滝あらはとなりて冬に入る

再会の落葉時雨の中にかな

斜ひに斜ひに散る落葉かな

冬部 雪女

寒明けや話好きなる郵便夫

湯豆腐や無口な亡夫と二人居て

産直のつめ放題の若布かな

春立つや夕日に映えし鄙の村

三寒も四温もありて日々多忙

おせっかいの一言悔む余寒かな

田村 哇畔

寒明けてまだまだ続くこの寒さ

湯豆腐をつつく幸せ老二人

酔のものも汁にも旨い新若布

異国語の飛び交う夜や雪祭り

大浴場湖の向こうの冬火花

国際化雪像作りの異国人

高島ふみ女

寒明けや見様見真似で剪定終え

湯豆腐や縁故の絆ねんごころに

浜の友口開け近し若布漁

梗塞で臥して十年春立てり

慶事より弔い多し峽しまき

待春や再会待てず訃の知らせ

館村 青村

元気スマイル 24

上村 安藏さん

昭和8年2月10日生・84歳(川向)



若いときは神奈川県などに稼働へ行き、昭和52年から約20年プロイラーで働いてきました。

◆元気の秘けつは？ 働いたり、自分の好きなことをしたりして、体を動かすことだね。

◆一番の楽しみは？ 17歳ころから始めた三味線を弾いたり、歌を歌ったりするのが楽しみだよ。

◆一番の思い出は？ 一戸町海岸へ炭焼きに10年ぐらい歩いて通った。帰る途中、雪崩に遭った事を今でも鮮明に覚えているよ。

寒明けて川瀬目映き陽射しかな

湯豆腐に独り静かに酌む夜かな

陸中の磯の香りの新若布

熊野館郷の八景深雪晴

政実におよぶ話や春こたつ

一筋の九戸古道や雪解山

水鳥の淀瀬に遊ぶ日和かな

【一月席題詠より】

初句会清記選句に酔ひ心地

四世代揃ひし朝初笑ひ

松明けて鬼籍に移る友ありて

どつびきの縄の駆け引き初笑い

もくもくと季語と向き合う初句会(赤藤)

減塩の推移気にしつ女正月

肝脳を絞る一句や初句会

時移り限界集落冬ざるる

(雪女)

(ふみ女)

(赤藤)

(青村)



家族や地域つなぐ

3ちゃん矢次工房でみそ造り

村づくり推進のつどい

村づくり推進のつどいは2月5日にHOZホールで開かれ、約220人が集まり地域発展に向けて共に学び合いました。この日は、事例発表や講演が行われ、参加者は自分の地域の役に立てようという理解を深めました。

事例発表では、本年度の花いっぱいコンクールで最優秀賞を受賞した、宇堂口実践区の山口勝美さんが活動内容を発表。宇堂口実践区では会員38人が5カ所の花壇を管理。希望郷いわて国体の開催に合わせ、前年度に約8畝増やし、本年度には展望台も設置し、きれいな花が見渡せるよう工夫したとのこと。山口さん

は、「高齢者が多い中でもきれいな花でおもてなしをしよう」と、増設した2カ所と合わせ、合計7カ所の花壇を頑張って管理している」と紹介していました。講演では、民謡歌手の漆原栄美子さんが「3ちゃん矢次工房と歌人生」について講演。日本テレビ・日本民謡大賞で、第14回日本民謡大賞日本一に輝いたことがある漆原さんが、今までの民謡活動と、20年前から始めた手作りみその加工について紹介しました。漆原さんは「小学3年か

ら先生より指導を受け、6年生の時に県独唱コンクールで最優秀賞を受賞したことがきっかけで、歌を歌うようになった」と自己紹介。15歳から15年間、井上一子さんより歌や踊りの指導を受け、4回目の挑戦で悲願の日本一に輝くまでの軌跡を話していました。また、「薄れていく隣近所の地域のつながりをつなげていこう、家族や自分たちのために役立つ事を始めよう」という思いで始めたのが『3ちゃん矢次工房』。

また、10年以上前から共同作業している畑は1反歩から5反歩に拡大し、年間約3トのみそを製造。昨年からは減塩みそに取り組み、1月からはマイヤ全店で販売できるまでになったそうです。



3ちゃん矢次工房を紹介する漆原栄美子さん

村づくり推進のつどいでは、花いっぱいコンクールの表彰も行われ、次の実践区が表彰されました。

■最優秀賞

宇堂口実践区

■優秀賞

戸田館の下実践区

戸田元村上実践区

■優良賞

丸木橋実践区、細屋実践区、山根実践区

最優秀賞に輝いた宇堂口実践区の花壇



最優秀賞を受賞した、宇堂口実践区（山口勝美さん）

者の支援を受けながら、空いている施設を借りて改装。総事業費500万円を投資し、念願であった工房を平成26年4月に開設しました。

ばあちゃん、とうちゃん、かあちゃんの3ちゃんが協力し合い、みそ造りに励んでいる『3ちゃん矢次工房』。漆原さんは、日本一の栄冠を手にするまでの苦労と、協働の精神で夢を実現させている経過について、歌を交えながら紹介していました。参加者は、滑らかな歌声に酔いしれるとともに、郷土の繁栄に役立つようにと熱心に耳を傾けていました。

九 戸 中 学 校

新年の決意をしたためる

1月13日、九戸中学校生徒会主催の書き初め大会が同校で行われました。

全校生徒152

人が「新年に向けて新たな目標を持ち、書き初めに思いを込める。書き初めを掲示することによって、目標

達成に向けて意識を高める」という狙いを掲げ、各自言葉を選びました。

新年の目標を生徒一人一人が、自分の思いを込めて半紙にしたためました。



全校生徒が自分の目標を半紙にしたためました

冬休み明けには、それぞれの作品を1・2階廊下に掲示。生徒たちは互いの作品を見合いながら、目標を達成できるよう誓い合っていました。

(副校長 野田 寛)

Books

◆ 今月のお薦め図書

たまちゃんのおつかい便

森沢 明夫 著／実業之日本社



老いの現実、本当の家族、過疎化と高齢化が深刻な田舎町で買い物弱者を救うため、大学を中退したたまちゃんは移動販売のおつかい便を始める。しかし、悩みやトラブルは尽きない。それでも、誰かを応援し、誰かに支えられ、笑顔で進んでいく。

転換期を生きるきみたちへ

内田 樹 編／晶文社

世の中の枠組みが大きく変化し、既存の考え方が通用しない歴史の転換期に「これだけは伝えておきたい」という知見を集めた名文集。若者達がこれからの時代を生き延びるための知恵と技術が詰まった、未来に向けた11のメッセージ。



ペンギンのバタフライ

中山 智幸 著／PHP研究所



あなたの小さな判断がどこかの誰かを幸せにする。時間をさかのぼれる坂、2年後からのメール、神様の落し物…。5つの短編小説が複雑に絡み合ってバタフライ効果のごとく奇跡を生み出していき、涙が思わずこぼれる、少し不思議な5つの物語。

世界一清潔な空港の清掃人

新津 春子 著／朝日新聞出版

「私は清掃の仕事が大好きです。自分にとって大事なことがはっきりしていれば、周囲に左右されることはありません」

清掃の地位はまだまだ低い。でも心を込めれば、感謝してくれる人が出てくるのです。



※平成29年「若い人に贈る読書のすすめ」より

○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日／年末年始

伊 保 内 高 校

伊高卒業を誇りに

3学年主任 石川 千枝

伊保内高等学校3学年通信の題でもある「平成29年3月1日に、笑顔で卒業式を迎えよう」が、近づいてきています。

しかし、ここまでくるには多くの試練もありました。何度もなくじけそうになることもありました。みんなの努力が実を結び、本年度は進路100%達成。

おめでとうございます。

今までの先輩の足跡があり、小さいながらも頑張っていることを認められた結果だと自負しています。

学校の坂道で、振り返ってお辞儀をするという流儀は、伊高生の代名詞みたいになりました。決してどこかの大きな学校に負けてないかいません。

伊保内高校出身であることを誇りに、次のステップ

でも大きく飛躍してくれることを祈っています。



進路100%達成おめでとう、伊保内高校3年生

上手に付き合おう「更年期障害」

3月1日～8日は女性の健康週間です。女性の健康週間に合わせて、今回は更年期障害についてのミニ講座です。

女性ホルモンの分泌低下に伴い、さまざまな身体的・精神的症状が現れるのが更年期障害です。個人差はありますが、早い人は40代に入つてすぐ症状を自覚することもあります。

40・50代は家庭の主婦であれば、子どもの成長と独立、夫の定年、親の加齢による病気や死などの変化が訪れるときであり、また働く女性には仕事の責任が増してくる時期です。もちろんその両方をこなしている女性も現代では多いことでしょう。子育ての終了とともに生きがいや喪失してしまうこともあります。これが更年期障害の原因になることも多いのです。

更年期症状は多岐にわたりますが、主な症状は次のようなものです。



ほてり、のぼせ、発汗、冷え、目まい、耳鳴り、頭痛、動悸、イライラ、不安感、不眠、抑うつ、無気力、肩こり、腰痛、関節痛、疲労感、頻尿など

女性ホルモンの分泌が低下し体調が崩れたときには、ホルモン補充療法や漢方薬による治療が行われます。また、自律神経調整薬や睡眠剤を使うこともあります。ここで大事なのは、更年期障害の背景に心的ストレスや性格的なものがあるので、薬物療法だけでは十分でないことがあるということです。カウンセリングが有効なこともあります。

平均寿命が80歳を越えるようになった今、更年期後の人生が昔に比べ長くなっています。ある意味人生のターニングポイントです。ここでもう一度、自分の人生と生活パターンを見直すきっかけととらえ、一人で悩まずに婦人科を受診して更年期障害と上手に付き合しましょう。

(保健師 河村 侑乃)

納めていますか？

後期高齢者保険料

後期高齢者医療保険料は、この制度に加入している人が病気やけがをしたときの医療給付の財源となります。

後期高齢者医療保険制度の健全な運営のため、保険料は納期内に必ず納めましょう。

■納付が困難なときは相談を

事情によって保険料の納付が困難なときは、役場税務会計課に相談ください。来庁が困難な人は電話相談にも応じます。

また、村では保険料の確保のため、滞納保険料の徴収に取り組んでいます。徴収担当の村職員が納付のお願いに訪問したときには、理解と協力をお願いします。

訪問する村職員は必ず身分証明書を携帯し、保険料の支払いにATM（金融機関の現金自動預払機）は使用しません。不審な電話などに注意してください。

■保険料を滞納すると…

保険料を滞納した場合、督促状が送付されます。督促状が送付されると督促手数料を加えて保険料を納めることになります。また、

公平性を保つため延滞金も発生し、これも納めなければなりません。

特別な事情がなく保険料を滞納し納付相談にも応じない人に対しては、次のような措置を取ります。

○短期被保険者証の交付
有効期間の短い被保険者証が交付されます。

○被保険者資格証明書の交付

特別な事情がなく1年以上滞納している人は、被保険者証を返還していただき、代わりに被保険者資格証明書を交付することになります。（診療費は、いったん全て自分で負担することになります）

○医療給付の制限

特別な事情がなく、さらに保険料の滞納が続くと、医療給付の一部または全部を差し止めることがあります。

■滞納処分

保険料を納付する意思がない場合や納付相談にも応じていただけない場合には、法令に基づく滞納処分として、預貯金・給料・不動産などの財産の差し押さえや公売手続きなどの処分を行います。

特定期間制度あります

国民年金の第3号被保険者が、配偶者（第2号被保険者）の退職や本人の収入が増加したことなどによって扶養から外れた場合には、第1号被保険者への切り替え手続きが必要です。

この手続きが2年以上遅れ、時効によって国民年金の保険料を納付できなかった期間については、届け出によって年金の受給資格期

間に算入することができます（特定期間制度）。なお、特定期間分は年金額に反映されませんが、追納することで年金額を増やすことができる場合があります。

詳しくは、ねんきん加入者ダイヤル、または年金事務所に問い合わせてください。

●ねんきん加入者ダイヤル
☎ 0570・003・004

消防署たより

住宅用火災警報器を点検しましょう

■定期的に手入れをしましょう

住宅用火災警報器はほこりが入ると、誤作動を起こすことがあります。定期的に掃除を行いましょう。

■電池切れに注意

住宅用火災警報器は電池が切れると作動しなくなります。定期的に作動確認をして、正常に動作しているかどうかを確認しましょう。

■住宅用火災警報器の交換目安

設置から10年以上経過している住宅用火災警報器は、本体やセンサーなどによって火災を感知しなくなる可能性があります。10年を目安に本体の交換をお勧めします。

村内の火災・救急（1月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	0件	0件	-1件
救急	23件	23件	-2件

犯罪被害から子どもを守ろう

■声掛け事案は犯罪の前ぶれ

平成28年中、岩手県警察に寄せられた子どもに対する声掛け事案の情報は383件（前年比61件増）で、そのうち176件が小学生を対象としたものでした。声掛け事案の多くは下校時間帯の通学路で発生しています。

■不審者情報を知ろう

岩手県警察のウェブページでは、パソコンや携帯電話からアクセスして、県内で発生した声掛け事案に関する情報を確認することができます。

事案の発生日時、場所、行為の内容などを知ることができますので、子どもの安全対策の第一歩として活用ください。

■子どもが犯罪に遭わないための合言葉「いかのおすし」

- 知らない人についていけない
- 知らない人の車にのらない
- おごえを出す
- すぐ逃げる
- 何かあったらすぐに知らせる

■保護者へ

●登下校はできるだけ複数で行動させ、外出時には必ず行き先を確認しましょう。

●通学路に姿を見せて、登下校中の子どもを見守りましょう。

●防犯ブザーの正しい使い方の活用を教えましょう。

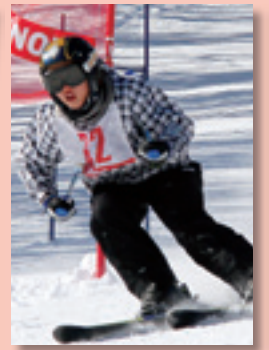
※不審者を見掛けたり、声掛け事案に遭ったときには、すぐに警察に通報しましょう。

通報に基づいて行為者を特定し、指導などを行うことによって、再発を防ぐことができます。

村内の交通事故（1月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	0件	±0件
物損事故	8件	8件	-2件
負傷者	0人	0人	±0人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転者	0人	0人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数……845日
(1月31日現在)



3月1日～7日 建築物防災週間

3月1日から7日まで、建築物防災週間を実施します。

この週間は、地震、火災、がけ崩れなど各種災害による人命および建築物の被害を防止し、安心して生活ができる空間を確保するため、県民に対し建築物に関する防災知識の普及に努めます。

また、防災・維持保全関係法令の周知徹底を図ることにより、建築物の防災対策を推進することを目的としています。

この週間中、防災相談所を下記の場所に設置しますので、ぜひ利用ください。

■**防災相談所** 県北広域振興局土木部二戸土木センター (☎ 23-9209)

国立大学法人等で オープンセミナー

東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会では、オープンセミナーを開催します。

■**日時** 3月16日(木)

午後3時～午後5時

■**場所** 岩手大学

※他日時、他会場あり

■**内容**

- ①職員採用試験の概要
- ②各大学の概要と業務内容
- ③先輩職員の体験談
- ④職員による個別相談会

■**その他** ホームページから事前予約が必要です。

■**問い合わせ** 東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会採用試験事務局 (☎ 022-217-5676)

いわてで働こう 合同企業説明会

岩手労働局と岩手県では、合同企業説明会を開催します。

■**日時** 3月22日(水)

午後0時30分～午後4時30分

■**場所** ホテル東日本盛岡

■**内容** 学生向けの企業情報の提供、関係団体による就職支援情報の提供

■**対象** 平成30年3月卒業・修了予定者および既卒3年以内の人(大学院・大学・短期大学・高等専門学校・専修学校)、県内に就業場所がある企業

■**問い合わせ** 岩手労働局職業安定課 (☎ 019-604-3004)

国家公務員採用 試験のお知らせ

人事院では、国家公務員採用総合職試験および一般職試験を実施します。申し込みはインターネットにて行ってください。

【総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験)】

■**受付期間** インターネット：3月31日(金)～4月10日(月)

■**1次試験日** 4月30日(日)

【一般職試験(大卒程度試験)】

■**受付期間** インターネット：4月7日(金)～19日(水)

■**1次試験日** 6月18日(日)

※詳しい内容については下記へ問い合わせください。

■**問い合わせ** 人事院東北事務局第二課試験係 (☎ 022-221-2022) または人事院ホームページ (<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)

休日当番医 (9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
3	5	藤田内科	38-2772
	12	ふくもりたこどもクリニック	43-3137
	19	二戸クリニック	25-5770
	20	すがわら消化器内科	23-2879
	26	金田一診療所	27-2205

休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
3	5	国香歯科医院	23-2223
	12	関歯科医院	38-2937
	19	宮沢歯科医院	46-2953
	20	曾根歯科医院	27-3108
	26	渡辺歯科医院	23-2052

ごみ収集日 3月

収集区域	瀬内内/宇堂口/泥の木/平内/妻の神戸田上・下/館の下山根/荒谷/ニツ家	鹿島/伊保内上・下川向/南田	小倉/長興寺上・下大向/五枚橋/荒田雪屋/田代/柿の木江刺家上・下/道地丸木橋/山屋/細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
不燃・ビン・金物	3月6日(月)	3月7日(火)	3月13日(月)
空き缶	3月21日(火)	3月27日(月)	3月28日(火)
粗大ごみ			3月14日(火)
紙・プラ類	3月9日(水)	3月15日(水)	3月23日(水)

※ 指定日に、指定の袋で出しましょう。

☎ 住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123



折爪岳南方の 風力発電説明会

ジャパン・リニューアブル・エナジー(株)では、折爪岳南方の折爪トンネルから小倉岳にかけての風力発電事業に係る住民説明会を行います。参加希望者は最寄りの会場を利用ください。

■日時 3月13日(月)
午後6時30分～午後8時(予定)
◎会場 江刺家ふるさとセンター

■日時 3月16日(木)
午後6時30分～午後8時(予定)
◎会場 村山村開発センター

■問い合わせ ジャパン・リニューアブル・エナジー(株) (☎ 03-6455-4926)

飼い猫以外の猫に 餌を与えないで!

かわいそうだからと、飼い猫以外の猫に餌を与え始めると、そこに住み着いてどんどん繁殖します。その結果→

- ◎生きられない子猫や処分されてしまう猫が増える
- ◎周辺の糞尿汚染や泣き声などで近所迷惑となる
- …などの問題が発生します。

猫に餌を与えることは、その猫の飼い主になるということです。飼い主には、その猫の健康・安全管理から糞尿の始末・周辺環境への配慮などの責任が伴います。

→ 責任を持ってない餌やりはやめましょう

■問い合わせ
住民生活課保健衛生班 (☎ 42-2111 内線 123)

岩手県で食品表示 ウォッチャー募集

県では、平成29年度県食品表示ウォッチャーを30人募集します。

■活動内容

- 食品の表示状況のモニターと報告
- 不適正な食品表示の情報提供
- 食品表示に関する研修会への参加

■活動期間 委嘱した日(平成29年5月頃の予定)から平成30年3月31日まで

■応募資格 次のいずれにも該当する人

- 平成29年4月1日現在、満18歳以上の人
- 県内に住んでいる人

■謝金 年額1,500円以内

■申込締切 3月31日(金)

※申込方法など、詳しい内容については下記へ問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ 県庁県民くらしの安全課 (☎ 019-629-5322)

借金の悩みを 相談ください

消費生活センターでは、借金を抱え悩んでいる人の相談に無料で応じています。

■場所 二戸消費生活センター

■問い合わせ 二戸消費生活センター (☎ 23-5800)

編集後記

◆先月、また携帯電話を落としてしまいました。ホズを落とすことは良くありますが、誰のために働いているのか、何のために生きているのかをよく考え、周囲に迷惑を掛けないように精進していきたいと思います。(下村)

人のうごき

(平成29年2月1日現在)

●人口	6,055人	(-13)
男	2,914人	(-2)
女	3,141人	(-11)
●世帯数	2,170世帯	(-1)
	(カッコ内は前月比)	
転入	3人	(3人)
転出	7人	(7人)
出生	2人	(2人)
死亡	11人	(11人)
	(カッコ内は1月からの累計)	



日本民謡大賞で日本一を受賞した、漆原栄美子さん（右）の美しい歌声に感動し、大きな拍手が送られていました

民謡協会九戸会30周年

響き渡る美声
酔いしれ感動

民謡舞踊発表会が2月19日、HOZホールで行われました。開会行事では、主催者を代表して日本民謡協会岩手九戸会の屋形場正藏代表が、「地域の活性化に役立つよう頑張っている。本日は、豪華ゲストも多数招待しているので、最後まで楽しんでください」とあいさつしました。

今年の主催団体の創立30周年を記念して、豪華ゲストを多数招待。日本民謡協会岩手県連合委員会の菊池信夫委員長や日本民謡大賞で日本一に輝いた漆原栄美子さん、佐野よりこさん、北條真由美さんなど、招待された数多くの出演者たちが発表会を盛り上げてくれました。

村内外から詰め掛けた400人以上の来場者たちは、会場いっぱい響き渡る伸

びやかな歌声に酔いしれていました。小学生から80代まで幅広い年齢層の出演者が25演目を熱演。華やかなステージショーが次々と繰り広げられると、観衆からは歓声が上がりました。

妻と2人で来たという野辺地賢吉さん(86歳・田代)は、「毎年、この日を楽しみにしている。今年も、漆原栄美子さんたちのかわいい歌声が聞けて良かった」と喜んでいました。

発表会の後には、同会創立30周年記念式典や祝賀会も行われました。集まった参加者たちは、節目を祝いながらさらなる発展を願うとともに、これからも社会を明るくし、地域に貢献できるように活動していくことを誓い合っていました。

公民館学級で育んだ成果を、歌に合わせて堂々と踊る出演者たち



優美な踊りで観衆を魅了した屋形場春菜さん（左）と尾友愛璃さん



発行／岩手県九戸村 ■編集／総務企画課
☎028-6502
岩手県九戸郡九戸村大字伊保内第10地割11番地6

電話番号／0195(42)2111(代)
メールアドレス／kunohi@vill.kunohi.iwate.jp
ホームページ／http://www.vill.kunohi.iwate.jp/